



《 例会 》 毎月第 2 水曜日 19:00~21:00 若松栄町教会 (☎ 0242-27-3944)

2015~2016 年度主題

International President : Wichan Boonmapajorn (Thailand)
 "Mission with Faith" 「信念あるミッション」
 Asia Area President : Edward K. Wong (Singapore)
 "Through Love, Serve" 「愛をもって奉仕しよう」
 東日本区理事 渡辺 孝 (甲府) 主題 : 「原点に立って、未来へステップ」
 北東部部長 中川典幸 (仙台) 主題 : 「今と原点を融合して未来へ」
 会津クラブ会長 高橋京子 主題 : 「継続は力・手をつないで前へ」

<No.254 会津通信>
 2016 年 6 月 8 日発行

会 長 高橋京子
 副会長 高橋眞美
 書 記 高橋真人
 会 計 高橋真人

◇6月の聖句◇

一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えて言われた。「取なさい。これはわたしの体である。」また、杯を取り、感謝の祈りを唱えて、彼らにお渡しになった。彼らは皆その杯から飲んだ。そして、イエスは言われた。これは、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。

マルコによる福音書 14 章 22 節~24 節

6 月例会プログラム

日時 ; 2016 年 6 月 8 日(水)19 : 00~
 会場 ; 若松栄町教会

司会 ; 高橋 真人メン

- | | |
|---|--------|
| 1. 開 会 点 鐘 | 高橋京子会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. 会長あいさつ | 高橋京子会長 |
| 4. 連 絡・報 告 | |
| 5. 聖 句 朗 読 | |
| 6. 食前感謝 | |
| 7. 会 食 | |
| 8. 懇談 「評価」 | |
| 9. Happy Birthday! Happy Anniversary!
- あかべこ | |
| 10. 閉 会 点 鐘 | 高橋京子会長 |

一年間に感謝

会長 高橋京子

我会津クラブの毎月のブリテンに載せている「今月の聖句」は高橋カメンの担当。他クラブが掲げる「今月の聖句」とはちょっと(担当)異色なものが選ばれていると思う。

時には「えっ!」と思うようなものもある。しかしここが会津クラブの特色で、選んだ聖句の解説や真意が語られる。ほんの短時間であるが、贅沢な時間でもある。この時間が例会を正しているポイントとなっているのではないかと思います。



少人数のメンバーは、全員が、ドライバー・ブリテン作成・会計・食事担当・CS 奉仕作業とフル回転会長の高橋京子は一年間ほとんど体調整わず、助けられる側にまわってしまい、只々「ありがとうございました」。

クラブ CS 奉仕活動も予定通りで、特にユニークダンスは少しずつメンバーが増えている。

<5 月例会出席状況>

在 籍 者 5 名 ゲスト 2 名
 出 席 者 4 名 ネット 0 名
 *5 月例会出席率 80%
 あ か べ こ 6,000 円
 15-16 年度合計 41,800 円

☆ 強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う。 ☆

ユニークダンスつばさの中心となっている青山メンを支える力を強めることが新年度の目標の一つになるだろう。新年度にバトンタッチ！！

(次回は 青山孝男メン)

5月例会の報告

今月は北東部の中川部長と吉田会計を迎えての例会となりました。

まず会津放射能情報センター代表の片岡輝美さんよりセンター内と活動を説明していただきました。当初15分程度と予定していましたが、活動の細部に触れ30分越えとなりました。例会場へ移動してプログラムに沿って進め、手作りの食事後部長より各クラブの現状の報告と渡辺理事の「部の活性化についての提案」をレジュメで説明いただきました。部長の選出方法にふれ、任期をやり切る人、もう一年あればと考える人と様々だが、やる気がありリーダーシップも備えられている人を複数年任務に就いてもらうことに各部の裁量に任せたいと・・・数年後になるのではと考えられる。(部の活性化につながるかは??)

又 北東部バナー作成の最終案デザインを見せていただきました。必要な時期になってきているのかなと考えさせられました。

北東部のこれからと同時に当クラブのこれからも一緒に考えさせられた時間でした。(青山)



会津だより

1, 東日本区大会の報告

6月4日の第19回東日本区大会を報告します。

会場となった若里市民文

化ホールは、長野オリンピックでアイスホッケーの会場となったビッグハット(長野市若里多目的スポーツアリーナ)の隣にあり内装が全体に木を思わせる、丸みを帯びたデザインで統一された、きれいなホールです。バナーセレモニーでは他クラブより一回り大きなバナーが壇上で、年2回の出番とあって会津の青、赤、白がひととき目立ったのでは？

(写真は釜石広域クラブ日野ゆ提供) 来賓祝辞を4名の方よりいただきましたが、長野の地での開催をそれぞれの立場で喜びのメッセージでした。休憩をはさんで長野プレゼンツ、



「天台声明」声明とは法要儀式に際し、経文や真言に旋律抑揚を付けて唱える仏教声楽曲です。その後は善光寺詣り 絵解き口演(絵解きとは、絵を使ってその絵の意味を説明すること)善光寺のお膝元らしい構成でした。締めには吹奏楽団「夢」の演奏。指揮者の深沢さんからは通称「年金バンド」とのこと。全員が年金もらっているだけでなく、年金を貰うようになってなくても続けようという趣旨でできたとの事。演奏にとどまらず会場の皆さんとの合唱もあり楽しく終演となった。

晩餐会はメルパルクホテル NAGANO(メルパルクは、日本郵政が土地・施設を保有し、運営はメルパルク株式会社へ委託されているホテル等の総称である)

食前感謝を仏教の食事作法で始まり、ここでも長野らしいプログラムであった。

翌日(6/5)の東日本区アワーでの表彰式で、会津クラブは、CS 献金達成賞、TOF 献金達成賞、ノンドロップ賞を頂いた。更に理事表彰では、会員数がすくないながらも、毎月充実した内容の記事を掲載しているとのことで、『プリテン努力賞』登壇することはないと思っていた矢先のこと、なんとも言えない嬉しさが込み上げ、渡辺理事に感謝と今後の励みに繋がった。(青山)



2, 会津藩の藩祖「保科正之」

兄である家光が正之の存在を知ったのは、成就院というお

寺に寄った時。そのとき家光は身分を隠して、休憩のために寺院に寄ったのですが、その僧侶に「肥後守は、将軍家の弟君だというのに、なぜ不遇されているのか」と聞き、正之の存在を知

りました。その後正之と対面した家光は、その有能な才を可愛がり、厚遇しました。寛永13(1636)年には山形藩20万石を、寛永20(1643)年には、会津藩23万石を与えています。また、自分の臨終の際には、息子である四代将軍・家綱の後見も任せられたほどでした。(以下次号)



◆ 今後の予定 ◆

◇7月例会 7月13日午後7時より

◇ユニークダンス例会

7月20日 会場：アガッセ

